

tesign	問題番号	問題文			正答	出題ページ	配点	図
		選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3				
56	3	次の文の (A) (B) (C) (D) に入る用語はどれか。「(A)とは、欲しい商品が簡単に手に入ることであり、(B)はできるだけ安価に商品が手に入ること、そして (C)は、楽しい買い物ができる、そして最後に安全安心は、清潔で安全で安心して買物ができると、この四つの価値を小売業は提供しています。」				10	1	
		(A)経済性 (B) エンジョイ (C)利便さ	(A)エンジョイ (B) 利便さ (C)経済性	(A) 利便さ (B) 経済性 (C)エンジョイ				
57	6	次の文の (A)と(B)に入る用語はどれか。「生産段階の原料調達から (A)までの物流全体の (B)を実現するための活動をサプライチェーン・マネジメントと呼びます。」				16	1	
		(A)店舗 (B)高度化	(A)消費(者) (B)効率化	(A)売場 (B)最大化				
58	9	仕入枠(額もしくは量)を設定して、その枠内で在庫の増減をコントロールする技法はなんというか。				22	1	
		インベントリ・コントロール	オープン・ツウ・バイ	セル・アンド・バイ・コントロール				
59	12	売価還元法で原価率(粗利益率)を求めるために必要な数値はどれか。				26	1	
		期首在庫高(原価) 期中仕入高(原価) 期中売上高(売価) 期末在庫高(売価)	期首在庫高(原価) 期中仕入高(原価) 期中売上高(売価) 期末在庫高(原価)	期首在庫高(売価) 期中仕入高(売価) 期中売上高(売価) 期末在庫高(売価)				
60	15	以下の表の空欄に入る数値はどれか。(小数点第三位を四捨五入)				27	3	○
		0.94%	0.89%	0.84%				
61	18	売価還元法では期末在庫高は売価で求めるため、直接的な期末在庫高の原価情報は不要であるが、次の棚卸資産の評価方法の中で同様に直接的に期末在庫高の原価情報が不要なものはいくつあるか。(個別法、先入先出法、平均法、最終仕入原価法)				31	1	
		ひとつ	ふたつ	ひとつもない				
62	21	営業利益高に影響を与える数値は、「売上高」、「売上高原価合計」、「販売管理費」、「ロス高」のよってであるが、そのうち低下させるべき数値はいくつあるか。				34	1	
		ひとつ	みつ	ふたつ				
63	24	日本の万引犯罪の認知件数は、全体として大きくは変化していないが、その中で特徴を正しく説明しているのはどれか。				43	1	
		少年、特に中学生の万引が増えており、高齢者の万引も目立って増えている	高齢者の万引が増えており、少年の万引は減少傾向にある	少年や高齢者の万引はあまり変化がないが、一方では集団窃盗が増えている				
64	30	次の文の空欄 (A) (B) (C)に入るものはどれか。「同一のチェーンストア内の店舗で商品を店舗間で融通しあうとき、振替伝票(データ)の処理を怠ると (A)は、ロスになり、(B)は、逆ロスとなります。逆に振替伝票が作成処理されているにもかかわらず、実際の商品の移動がなかった場合は、(C)は、ロスとなります。」				51	1	
		(A) 商品を出した店 (B)商品を受け取った店 (C)伝票処理上は商品を受け取ったことになっている店	(A) 商品を出した店 (B)商品を受け取った店 (C)伝票処理上は商品を受け取ったことになっている店	(A) 商品を受け取った店 (B)商品を出した店 (C)伝票処理上は商品を受け取ったことになっている店				
65	33	実地棚卸の主たる目的は何か。				55	1	
		不明ロスと廃棄ロス、値下げロスを確定すること	利益を確定することと仕入れ額を確定すること	利益を確定することと不明ロスを確定すること				
66	36	棚卸の実施についての説明で正しいものはどれか。				59	1	
		顧客注文品で売上計上しているものは分別して「棚卸除外」と表示し、同じ顧客注文品で取り置きしているがまだ売上計上していないものも「棚卸除外」と表示しておくべきである	顧客注文品で売上計上しているものは分別して「棚卸除外」と表示し、同じ顧客注文品で取り置きしているがまだ売上計上していないものは、棚卸に含めなくてはならない	顧客注文品で売上計上しているものは棚卸に含めなくてはならず、同じ顧客注文品で取り置きしているがまだ売上計上していないものは「棚卸除外」と表示しておき棚卸に含めないようにするべきである				
67	39	次の空欄 (A) (B) (C)に入るものはどれか。「検品の権限が特定のひとりにだけ集中して、検品結果をチェックできる仕組みがないときに犯行の (A)が生まれます。このような状態が長く続くと一度の窃取額は (B)とも長期にわたって不正が行われることから被害額は (C)なる傾向にあります。」				65	1	
		(A) 機会 (B) 大きく (C) 小さく	(A) 機会 (B) 小さく (C) 大きく	(A) 動機 (B) 小さく (C) 大きく				
68	42	次の空欄 (A) (B) (C)に入るものはどれか。「不正要因のトライアングルの三つの要素とは、金銭欲求に対する (A)、不正行為の (B)、不正行為をすることができる (C)が存在することであり、その三つの条件がすべてそろわないと不正は起きない。」				70	1	
		(A)動機 (B)正当化 (C)機会	(A)執着 (B)機会 (C)能力	(A)機会 (B)動機 (C)個人的な資質				
69	45	次の空欄 (A) (B) (C)に入るものはどれか。「(A)をする際に、(B)することで、(C)を高めることができる。」				76	1	
		(A) 期末棚卸 (B) 在庫を増し (C) 粗利益率	(A) 仕入データの入力 (B) 在庫を増し (C) 原価率	(A) 返品処理 (B) 返品処理を実際よりも少なく (C) 値入率				

Q60

項目	数値	
期首在庫額(売価)	2,990	2990+8200-9000-15-2090=85
期中仕入額(売価)	8,200	85/9000=0.944
期中売上高(売価)	9,000	
期中原価率		
期中値下、廃棄(売価)	15	
期末在庫額(売価)	2,090	
あるべき在庫高(売価)		
不明ロス高		
不明ロス率		
期末在庫高(原価)		